

・原稿などの各書式は、静岡大会のホームページからダウンロードできます。

静岡大会ホームページ <http://www.sf-shizuoka.com/>  
→「出展調査書類はこちらから」

「青少年のための科学の祭典」  
第21回静岡大会

# 実験解説集 原稿執筆要領

「青少年のための科学の祭典」 静岡大会実行委員会

原稿締切は 6/11(月) 事務局必着です

☆原稿の送付方法については、本資料の末尾をご覧ください。

## 「実験解説集」について

「青少年のための科学の祭典 静岡大会」では、出展される各団体の実験や工作などの体験プログラムについて、その手順や科学的な背景などをわかりやすく紹介する冊子「実験解説集」を作成しています。この解説集は、科学体験の一層の普及を目的として、祭典当日の会場での無料配布をはじめ、イベント終了後には学校などにも無料でお送りしています。もちろん、大会に出展される皆様や、他地域の科学イベント主催者などにもお配りし、互いの情報交換にも役立てていただきます。

つきましては、出展される講師の皆様には原稿の執筆をお願いいたします。下記の要領をご確認の上、作成された電子データを大会事務局へお送りください。

### 1. 原稿のサイズと分量など

- ①「実験解説集」は A4 版で印刷します。ご出展いただく 1 ブースにつき、A4 版 1 ページ分の原稿を執筆していただきます。
- ②編集の都合上、原稿は規定の書式に従って（Word 形式です）作成してください。

1 ページ 40 字 × 40 行、フォントは MS 明朝体 11 ポイントで作成してください。  
行間隔は、行間…固定値 間隔…17 ポイント。ルビは MS 明朝 5.5 ポイントで。

※ルビの作業などで行間がずれたときは、タスクバーの「ページレイアウト」から、段落→行間隔→行間で再設定できます。

- ③書式の範囲内で、写真や図は自由に配置していただいて結構です。ただし冊子は白黒で印刷されますので、コントラストの弱い写真などは見づらくなる傾向があります。印刷後の見え方などに、あらかじめご配慮を願います。図中の文字などが小さくなりすぎないようにしてください。

### 2. 原稿作成上の注意点

#### ＜ 本文のレイアウト ＞

- ・お送りいただいたデータ本文は、そのまま写真製版して印刷します。図や写真も、貼付したままの位置、大きさを印刷されますのでご注意ください。

#### ＜ タイトル欄について ＞

- ・タイトル欄（枠内）については、とりまとめ後に事務局で体裁を統一して加工します。タイトル、代表講師の職名・氏名、さらに「どんな体験ができるの」の原稿のみ、誤りのないよう記入してください。この欄への飾り付けなどはできません（印刷に反映されません）。枠内に図などの挿入もできません。
  - ・登録スタッフのうち、タイトル欄に氏名を記載できるのは代表講師だけです。
- なお、8月11日（金・祝）出展の中学生、高校生ブース出展者は、学校名、部活名のみで結構です。  
顧問のお名前を記載する必要はございません。

## 〈 対象となる読者 〉

- ・基本的に、小学生から中学生までの年代への配布を想定しています。むずかしい科学原理などについても、専門用語を多用せず、わかりやすくかみくだいた言葉、表現などを心がけてください。
- ・大会当日に、各ブースの出展内容をよく理解していただく目的のほか、大会以外の場で、読者がそのプログラムを再現して体験できることも意図しております。手順や準備品、また特に安全上の留意点などについては、わかりやすく、重要なことを省いてしまったりすることのないよう、ご注意ください。

## 〈 項目立て 〉

※以下の項目にしたがって執筆してください。項目ごとの文章配分や、本文中の図・写真の配置を含むレイアウト等については、お任せします。

### ①どんな体験ができるの？

この項には、プログラムを企画した意図について、わかりやすくお書きください。

紹介する実験や工作などの体験が、どんな科学分野のテーマであるか、また体験を通して、体験者に感じてほしい「ふしぎなこと」「楽しさ」などをまとめてください。特に、低年齢の児童らも受け入れる予定のブースでは、体験者が原理などの理解に到達できなくても、感じ取ることができるであろうポイントについて表現してください。

### ②準備するもの

体験（の再現）に必要な材料、道具類をもれなく書いてください。具体的な「商品名」は記載せず、一般名称でご紹介ください。当日ブースで使用する物品のほか、一般家庭にあるもので代用できる場合は、その旨も書き添えていただくと、解説集がより使いやすくなります。

### ③体験の手順

プログラムの体験・進行手順を、簡潔にわかりやすく書いてください。装置の構成や実際の手さばき、ポイントなどについても、できるだけ図や写真を添えて、流れがわかりやすいように紹介してください。また、スペースに余裕があれば、体験がどんな科学的原理に基づいているのか、それが体験の流れの中でどんな場面にあらわれてくるのか…などについても、わかりやすい表現で解説してください。

### ④気をつけよう

この原稿を読んで、自宅や学校などで体験を再現するときのために、実施にあたって注意すべき点、安全上配慮しておくべきことなどを、もれなく書いてください。

☆科学分野にあまり詳しくない人でも確実に危険を避けられるよう、十分な情報を提供してください。

☆工作品などを持ち帰っていただく予定の出展については、持ち帰り時、持ち帰り後の扱いについての注意事項、禁止事項、廃棄の方法などについて、この項で具体的に明記しておいてください。

（例）遊んだ後は必ず手を洗いましょう / 口に入れないでください / 捨てるときは「燃えるごみ」に入れてください・・・など

### ⑤くわしくしらべてみよう

原稿内に引用した文献、プログラムに関連する参考資料・文献などを記載してください。

資料や文献の紹介は ⇒ 著者名「書名」(巻名・ページ) 出版社名

☆出展内容のベースとした資料を、必ず明記してください。

できるだけ小学生・中学生が書店や図書館で入手・閲覧ができるような「本」をご紹介ください。

☆実験に関する原理の説明を補い、体験者や読者の興味をさらに広げるための資料があれば、だけ紹介してください。また体験の応用例などの補足も、ありましたら書き添えてください。

☆ホームページの場合は、URL だけでなく、そのホームページのタイトルや検索する上でのキーワードを併記してください。

## 3. 文章表記・文字表記

- ・小学生が読むことを想定して、むずかしい漢字や専門用語にはルビをふってください。
- ・文末は「です・ます」調に統一してください。
- ・数字は算用数字で表記してください。また 2 ケタ以上の数値は半角にしてください。
- ・以下の言葉は、ひらがな表記に統一してください。「等」→「など」「全て」→「すべて」「分かる(理解する)」→「わかる」  
「〇〇出来る(可能)」→「〇〇できる」「……と言うような」→「……というような」  
「〇〇な物(抽象的に)」→「〇〇なもの」「〇〇な事」→「〇〇なこと」  
「(副詞として) 余り……ない」→「あまり……ない」「…な訳には」→「…なわけには」  
「……して見る(試行)」→「……してみる」「……かも知れない」→「……かもしれない」  
「〇〇して下さい」→「〇〇してください」「〇〇する時は(仮定などで)」→「〇〇するときは」
- ・言葉や引用文などを「」でくくるときは、「」内の末尾に句読点をつけないでください。
- ・科学物質は原則として物質名で表記してください。どうしても化学式を必要とするときは、物質名を併記してください。

(例)            NaOH            +    HCl            →    NaCl            +    H<sub>2</sub>O  
                  水酸化ナトリウム            塩酸            塩化ナトリウム            水

## 4. 図や写真の使用

- ・図や写真は、原稿 (Word 形式) に直接貼り付けて、ご提出ください。
- ・手書きの図はケント紙などのしっかりした紙にインク書きしたものをスキャナーで取り込み、原稿に貼り付けてください。

説明や図表・写真などを参考文献やホームページから引用して掲載する場合、出典を明示し、必ず代表講師が著作権者から使用許可をとってください。

## 5. データの送付手順

- ・原稿データファイルは原則として電子メールに添付してお送りください。
- ・電子メールにファイルを添付してお送りいただく場合、合計サイズが 2MB を超えないように（場合によっては分割でお送りいただくよう）注意してください。

送信タイトルは→ 【2次調査】静岡大会（代表講師名）

- ・お送りいただく前に、データのウイルスチェックを確実にお願いします。
- ・データファイルと合わせて、印刷した完成原稿も（郵送・持参などで）必ずお送りください。
- ・電子メールがご使用になれない場合、大会事務局へ、ご相談ください

## 6. 原稿の校正、Web への公開について

- ・お送りいただいた原稿は、実行委員会で校正させていただきます。校正の対象部分が、記載された内容そのものや趣旨などにかかわる場合は、その都度皆様にお知らせして、確認した後に手直しをさせていただきますが、単純な誤字脱字、漢字使用、文字ポイントなどの修正などについては、作業日程の都合から、ご連絡を省かせていただきます。
- ・このため、あらかじめ代表講師の皆様には、こうした原稿校正についてご承諾をいただきたいと思えます。ご同意いただけましたら、別添の「各種届出 ①実験解説集原稿校正・Web 公開承諾書」欄に記入し、押印し、解説集原稿（紙ベース）と共に郵送をお願いします。
- ・「実験解説集」のタイトル、出展者を、Web 上にも公開しております。公開についての承諾も、「実験解説集原稿校正・Web 公開承諾書」にて確認をさせていただきます。

## 7. 問い合わせ先の記載について

- ・個人情報保護の観点から「協力者リスト」に出展スタッフを含めた皆様のお名前を掲載することは廃止いたします。代わりに巻末に「問い合わせ先」一覧を掲載します。
- ・代表講師の方は、様式1の「問い合わせ先」記入欄で「代表講師名」「所属先名」「掲載しない」のいずれかを選択してください。稿と一緒に送ってください。
- ・「代表講師名」「所属先名」を選択された方は、続けて「名前あるいは氏名」「連絡方法」「住所、電話番号、メールアドレス等」を御記入ください。
- ・事務局に代表講師の方の連絡先に関する問い合わせがあった場合は、先ず代表講師の方に連絡の可否をお尋ねいたします。

## 8. データの書式ダウンロード・送り先

- ・原稿などの各書式は、静岡大会のホームページからダウンロードできます。

静岡大会ホームページ <http://www.sf-shizuoka.com/>  
→「出展調査書類はこちらから」

- ・データ等はすべて、下記の大会事務局へお送りください。

「青少年のための科学の祭典」静岡大会事務局  
〒422-8067 静岡市駿河区南町 14-25 エスパティオ  
静岡科学館る・く・る  
電話 054-284-6960  
F A X 054-284-6988  
E - Mail : rukuru@scpf.shizuoka-city.or.jp  
(担当：谷 織田)

原稿送付の締切 6月11日(日) 事務局必着

### <お送りいただく書類>

- ①メール添付…解説集原稿のデータファイル  
第2次調査票 様式1 様式2
- ②郵送…解説集原稿 (紙ベース：レイアウト確認のため)  
第2次調査票 様式2 (捺印したもの)